

PROJECT 02 にあせっと

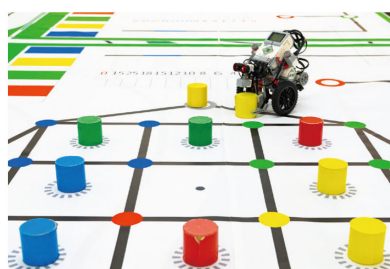
ETロボコン大会の

地区大会を突破し

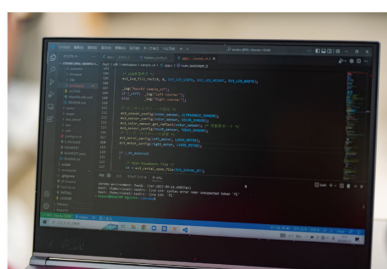
チャンピオンシップ大会へ。



2022年大会はレースとゲームの課題に対応。



2022年大会のコースで、ロボットの動きを再現。レースコースを走った後にゲームエリアへロボットが侵入し、赤・青・黄・緑4色のブロックを所定の場所へ運ぶ。



ロボットに組み込むC言語を用いて作成したプログラム。課題をクリアするために作成したプログラムはロボットに転送され、ロボットはコースを自走する。

NiASET(ニアセット)は、ロボットに組み込んだソフトウェアの技術を競う「ETロボコン」で、勝利を目指すチームです。ETとは組み込みシステムのこと。参加チームは同じロボットを用いることが条件で、課題をクリアするために設計したソフトウェアを自律型のライントレース・ロボットに実装し、課題が設定されたコースを走って内容を競います。ETロボコンの特徴は、単に走らせるだけでなく、課題をクリアするためにどういう戦略を立て、何を工夫したのかを記述・図示した「設計書」の提出が義務付けられているところで、審査の対象になります。

2022年の課題は、コースを早く走る「レース」の後に、赤・青・黄・緑のブロックを所定の位置に運ぶ「ゲーム」が課されました。しかし、残念ながら九州地区大会で敗退という結果に。2023年はぜひ地区大会突破を果たし、チャンピオンシップ大会へ進出して好成績を収めたいと思っています。また、大会参加の一方でロボット教室を開き、子どもたちにプログラムを通じてロボットを動かす楽しさを紹介する活動にも取り組んでいます。

この活動のメリットとしては、授業で習ったプログラミングの基本知識をもとに、応用能力を高められることがあります。私自身は、この活動によってさらに高度なプログラミング能力を身に付け、将来、システム開発のエンジニアとして活躍したいと考えています。



leader

知能情報コース4年
Adam Ooi Ming Hong
マレーシア・SMJK Sin Min 出身

マレーシア出身。マレーシアで日本語を学んだ後、日本へ。東京の日本語学校での学習を経て、本学の知能情報コースに入った。マレーシアで過ごすなか、世界的に人気だった「ボーカロイド」に興味を持ち、日本でコンピュータ分野を学ぶ意欲が高まっていったと話す。